

3月12日(水)

ダイヤ改正を実施します。

スピードアップと増発を中心に利便性をさらに向上

西武鉄道(社長:戸田博之)では、来たる3月12日(水)ダイヤ改正を実施いたします。

今回の改正は、かねてから進めてまいりました、池袋線の高架複々線化工事のうち、桜台~練馬高野台間の高架複々線化がすべて完成するのにもない行うもので、朝間ラッシュ時のスピードアップをはかるほか、地下鉄有楽町線直通電車の増発とスピードアップなど、ダイヤを全面的に見直して、利便性の向上を図ります。

また新宿線では、昼間の時間帯にJR中央線方面へのアクセスを便利にするため新所沢~国分寺間の直通電車を運転し、拝島線では昼間にも急行を運転するなど、便利で利用しやすいダイヤといたします。

なお、池袋線、新宿線ともに着席通勤のニーズに応え、朝の通勤時間帯に特急レッドアローを新設します。

詳細は別紙のとおりです。

ダイヤ改正の概要

池袋線・西武秩父線

朝ラッシュ時のダイヤ全面見直しによるスピードアップと混雑の緩和
桜台～練馬高野台間がすべて複々線化されるのにもない、スピードアップを図るほか、「区間準急」を廃止して「快速」を新設し、混雑の緩和を図るなど、ダイヤを全面的に見直します。

有楽町線直通電車のスピードアップと増発

朝ラッシュ時と夕夜間の直通電車の一部を「快速」や「準急」にしてスピードアップを図る（現在、朝夕は各駅停車のみ）ほか、昼間時と夕夜間の直通電車を増発（昼間時1時間4本6本、うち快速2本・夕夜間1時間5本6本、うち快速または準急1～2本）し、直通電車をさらに利用しやすくします。

朝の通勤時間帯に特急レッドアローを増発・新設

「むさし号」（飯能 池袋）を6時台に1本増発、8時台に1本新設します。以前から着席通勤のニーズは高く、これまでも6・7時台と9時台には特急を運転してきましたが、今回新設する、特急「むさし12号」は飯能8時11分発、所沢8時34分発、池袋8時58分着と、初めて8時台に運転するものです。

特急レッドアロー「ちちぶ号」（池袋 西武秩父）を増発

平日昼間時の、「むさし号」（池袋 飯能）3往復を西武秩父まで延長し「ちちぶ号」に変更します。これにより16時台までほぼ1時間毎に1本「ちちぶ号」が運転されることになり、秩父方面へのアクセスが大幅に向上します。

新宿線・国分寺線・拝島線

国分寺～新所沢間に直通電車を新設

昼間時に国分寺～新所沢間の直通電車を1時間あたり1本運転します。これにより国分寺と所沢方面が東村山での乗り換えなしで結ばれることになり、JR中央線方面へのアクセスが向上します。

拝島線の増発とスピードアップ

昼間時に1時間あたり1～2本増発し、1時間あたり2本「急行」を運転します。（現在、昼間時は各駅停車のみ）

朝の通勤時間帯に特急レッドアローを新設

「小江戸号」（本川越 西武新宿）を8時台に1本新設します。池袋線と同様、以前から着席通勤のニーズは高く、これまでも7時台と9時台には、特急を運転してきましたが、今回新設する特急「小江戸8号」は、本川越8時08分発、所沢8時27分発、高田馬場8時56分着と、初めて8時台に運転するものです。

以上